

地元訪問で紹介議員 8 名中 5 名

大分「いのち署名」取り組みで取材も



吉川衆院議員の事務所を訪問し、懇談・要請する大分県医労連のみなさん。

大分県医労連は、秋の中央行動の一環として地元で国会議員事務所を訪問し、「いのち署名」の紹介議員の要請をしています。地元での事務所の対応がよく、これまでに大分選出の国会議員（大分出身の比例選出含む）8名中5名が紹介議員になり、なんとその中には元防衛大臣の岩屋毅議員もいます。

県医労連では、医療機関・介護施設へのコロナ調査も実施しており、調査結果も携えて2度目の訪問を実施しています。

地元での訪問は対応が良いとの連絡は他県からも聞こえています。コロナ禍で国会行動に参加できない加盟組織も、地元で取り組みをすすめてみましょう。

医療機関・介護施設対象に 500 配布

コロナ調査を実施

大分県医労連では、医療機関・介護施設を対象に、独自のコロナ調査を実施しています。500施設に調査票を配布し、93施設から回答が寄せられ、集約しています。

この取り組みが大分合同新聞で取り上げられ、記事を見たNHKからも依頼があり、「いのち署名」の取り組みと併せて取材を受けました。

調査では、コロナによる働き方の影響や事業所として困っている事などを聞き取っており、

県医労連は調査の結果を持って県要請や議員事務所の訪問をする予定にしています。



コロナ調査について、NHKの取材を受ける日野委員長。

元閣僚

岩屋毅議員も紹介議員に

大分の紹介議員には、かつて防衛大臣を務めた自民党の岩屋毅衆院議員も名前を連ねています。

大分県医労連は、秋の中央行動の一環で、地元の議員事務所を訪問しました。岩屋議員の事務所にも電話でアポ取りをしたところ、電話の受け口での秘書の対応でも「ウェルカム」感が伝わり、快く受け入れてくれたそうです。地元事務所の秘書は親族の方が担っているそうで、訪問時にも大変よく話を聞いてくれ、特に、コロナ禍での問題に関心を寄せてくれたとのこと。事務所からは、後日、日本医労連に紹介議員を応諾する旨の回答書が届きました。

県医労連は3月の行動で再度、地元事務所を訪問し、お礼とコロナ調査の結果を報告します。